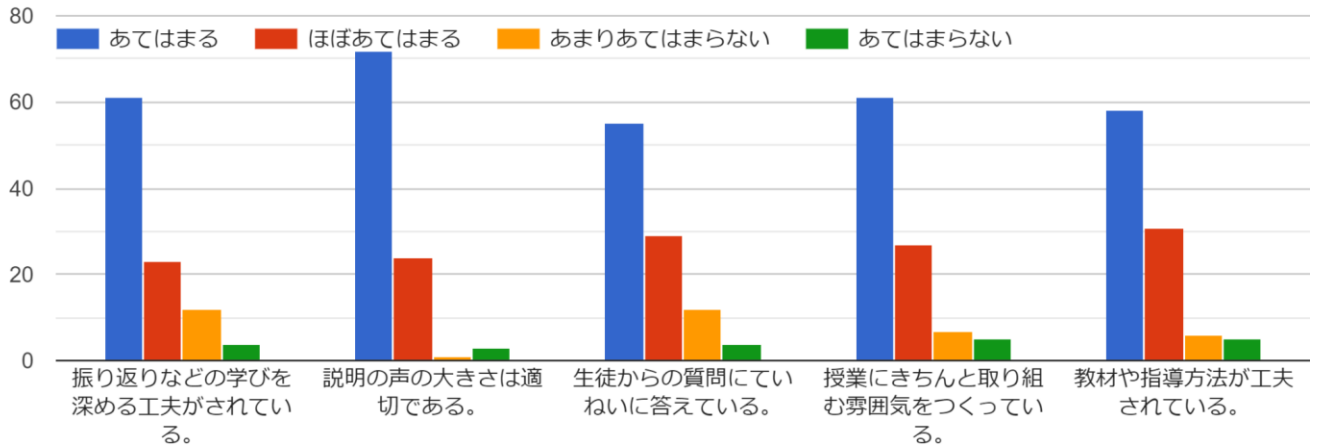


教科名： 保健体育	重点目標：男女の違いを理解して授業をよりよく行う。
-----------	---------------------------

学習指導に関する現状と課題（2学期 生徒による授業評価アンケートより）

1年 保健体育の授業について



- ・振り返りなどの学びを深める工夫がされている。
- ・説明の声の大きさは適切である。
- ・生徒からの質問にいてねいに答えている。
- ・授業にきちんと取り組む雰囲気をつくっている。
- ・教材や指導方法が工夫されている。

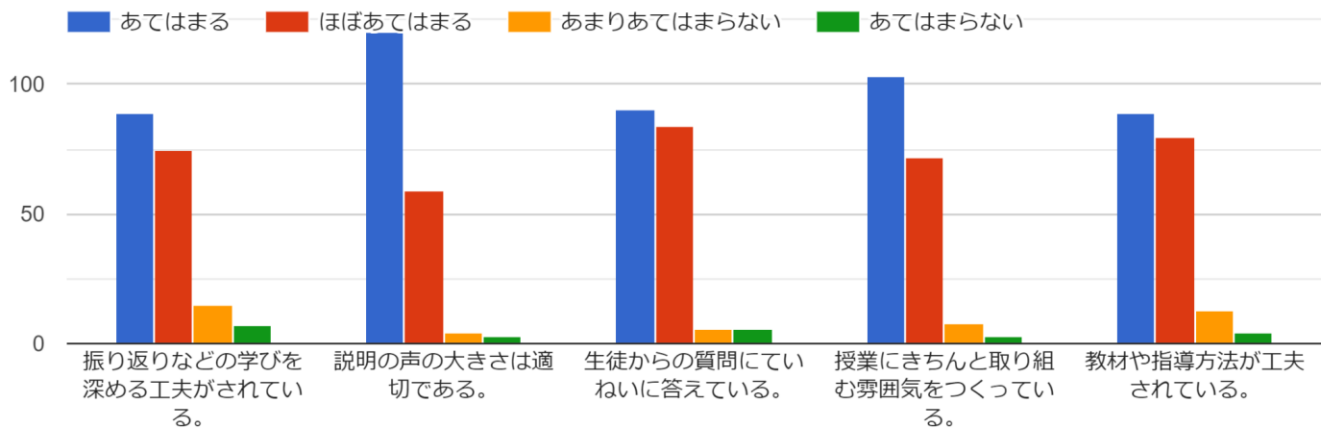
分析

男女共修の授業を行っているが、生徒たちは、違和感なくできており、教材の工夫や指導の工夫の成果が出ている。

教科名： 保健体育	重点目標：男女の違いを理解して授業をよりよく行う。
-----------	---------------------------

学習指導に関する現状と課題（2学期 生徒による授業評価アンケートより）

2年 保健体育の授業について



- ・振り返りなどの学びを深める工夫がされている。
- ・説明の声の大きさは適切である。
- ・生徒からの質問にいてねいに答えている。
- ・授業にきちんと取り組む雰囲気をつくっている。
- ・教材や指導方法が工夫されている。

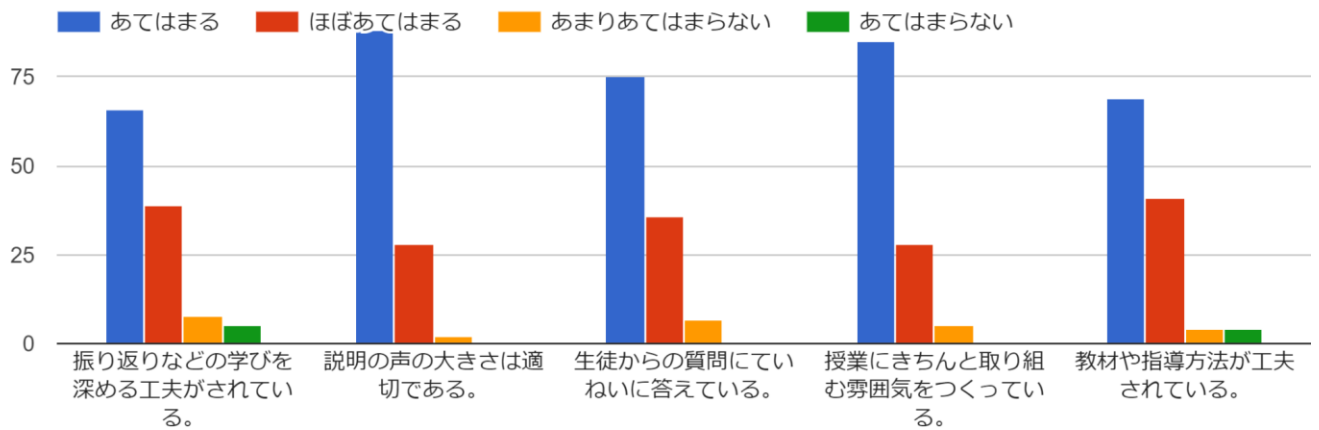
分析

今年度から男女共修になり、男女お互いに力を出せなかったり、教材によってはそれぞれの特性を考えて授業を行っているつもりであるが、もっと指導法の工夫を考えていきたい。

教科名： 保健体育	重点目標：男女の違いを理解して授業をよりよく行う。
-----------	---------------------------

学習指導に関する現状と課題（2学期 生徒による授業評価アンケートより）

3年 保健体育の授業について



- ・振り返りなどの学びを深める工夫がされている。
- ・説明の声の大きさは適切である。
- ・生徒からの質問にいてねいに答えている。
- ・授業にきちんと取り組む雰囲気をつくっている。
- ・教材や指導方法が工夫されている。

分析

2学期から男女別修に変更になったため、さらに指導を細分化できた。学びのヒントを多様化提示できるとともに、学力と運動能力の工場のチャンスが広がると考えている。
 男女共修のメリットもあるので、スモールティーチャーなどによる技術面の底上げや、グループ別学習による主体的な取り組みなどからも、学力と運動能力の向上をはかることができるとよい。